

住宅遺産トラスト オンライントーク

## シリーズ 住宅遺産からの便り



写真：白井原太

第4回 6月27日(日) 15:00~16:30  
「増田夫妻のアトリエ (アトリエNo.7) より」  
白井晟一/1959年竣工

今回は、白井晟一設計（1959年）「増田夫妻のアトリエ（アトリエNo.7）」よりお送りいたします。本アトリエの保存再生改修設計をされた白井晟一の孫であり建築家の白井原太さんをお迎えして、本邸の紹介と共に、白井晟一の住宅建築についてお話をうかがいます。

「この建物は、アーティストである増田義祐・欣子夫妻のアトリエ兼住宅で、「増田夫妻のアトリエ」という名で1959年に発表されました。寡作の建築家である白井晟一が残した建築は70余り、その中で現在も残っているのはその半分、住宅は更にその半分程となっています。増田夫妻はこの家を大切に、仲良く、楽しく暮らし、最後まで丁寧にオリジナルを守ってこられました。この建物が岐路にたたされた2019年、事態は動き出し、人の思いと縁が幾重にも重なり、人生ならぬ新たな“建生”を育むことになりました。時を経て存在してきたものに慈しみをもって手入れをし、更に価値が付加される土壌を日本でももっと耕していく必要があります。この建物は、設計者、住まい手が何を大切にしてきたかを汲み取った上で、その家の魂を残した改修を行い、「アトリエNo.7」として新たなフェーズを迎えることになりました。」（白井原太）

#### ゲスト：白井原太

白井晟一建築研究所・アトリエNo.5、秋田県湯沢市ふるさと応援大使。多摩美術大学美術学部建築学科卒業後、設計事務所を経て2000年より白井晟一建築研究所。建築、内装等デザインの仕事の他、祖父である建築家・白井晟一の仕事の保存、利活用にも取り組み、登録文化財となった顧空庵（旧 試作小住宅 1953年白井晟一設計）の移築設計も行った。街並みや建築を描く事をライフワークとし、スケッチの講師、ワークショップ、講演等多数。著書・編集者として『白井晟一の手と目』（鹿島出版会）、『白井晟一、建築を語る - 対談と座談』（中央公論新社）

#### ナビゲーター：伏見唯

建築史家・編集者。1982年生まれ。早稲田大学大学院修士課程修了後、新建築社、同大学大学院博士後期課程を経て、2014年伏見編集室設立。『TOTO 通信』などの編集制作を手掛ける。博士（工学）。専門は、日本建築史。おもな著書に、『日本の住宅遺産』（世界文化社）、『木碎之注文』（共編著、中央公論美術出版）、『よくわかる日本建築の見方』（共著、JTBパブリッシング）、『世界の名建築解剖図鑑』（監訳、エクスナレッジ）など

協力：株式会社エスジーマックス

主催：一般社団法人住宅遺産トラスト

#### 参加申込方法（※切：6月26日）

一般用：下記のフォームより、必要事項をご記入の上、お申込みください。

<<https://shirai-seiichi.peatix.com>>

HHT 会員用：HHT 会員は無料です。下記のフォームより、必要事項をご記入の上、お申し込みください。

<<https://forms.gle/pr6wD6YWt9zB4nBo6>>

★★お申込みフォームの最後に、参加用のURLが表示されますので、必ず、転記（コピー）して、当日ご利用ください。

当日6月27日のミーティングルームは、10分前の14:50よりオープンします。

問い合わせ先：

hhtonline.series@gmail.com  
03-3721-1044

- ・開催日：6月27日（日）
- ・時間：15:00～16:30
- ※30分程度延長することも予想されます。ご都合に応じ、ご退出ください。
- ・会場：ズームを利用したオンライン開催
- ・参加費：一般1,000円、HHT 会員無料
- ※定員100名として、満員になり次第締め切ります。